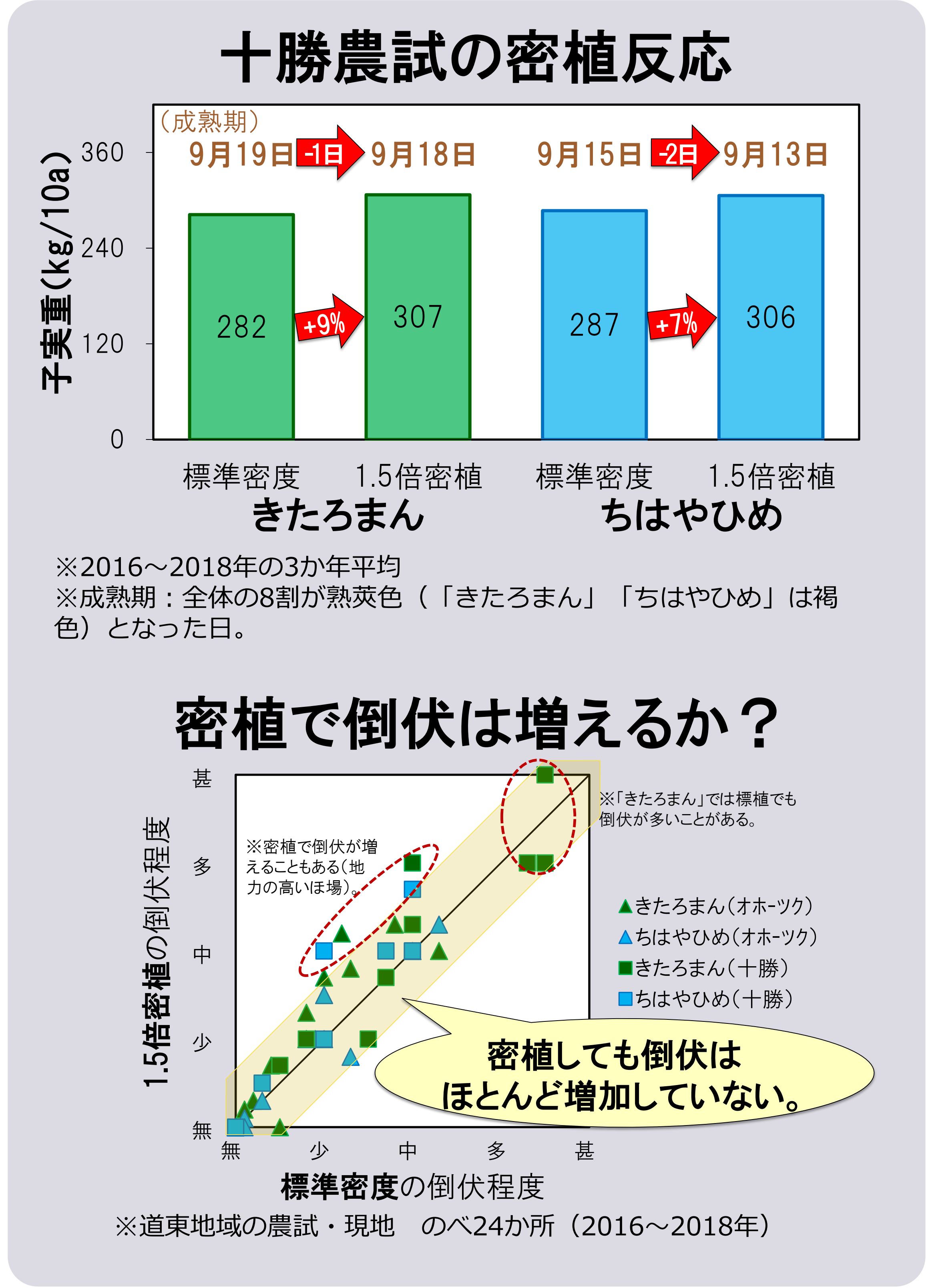


ポイントは密植 ～道東の小豆農家は早生品種を作りこなせ

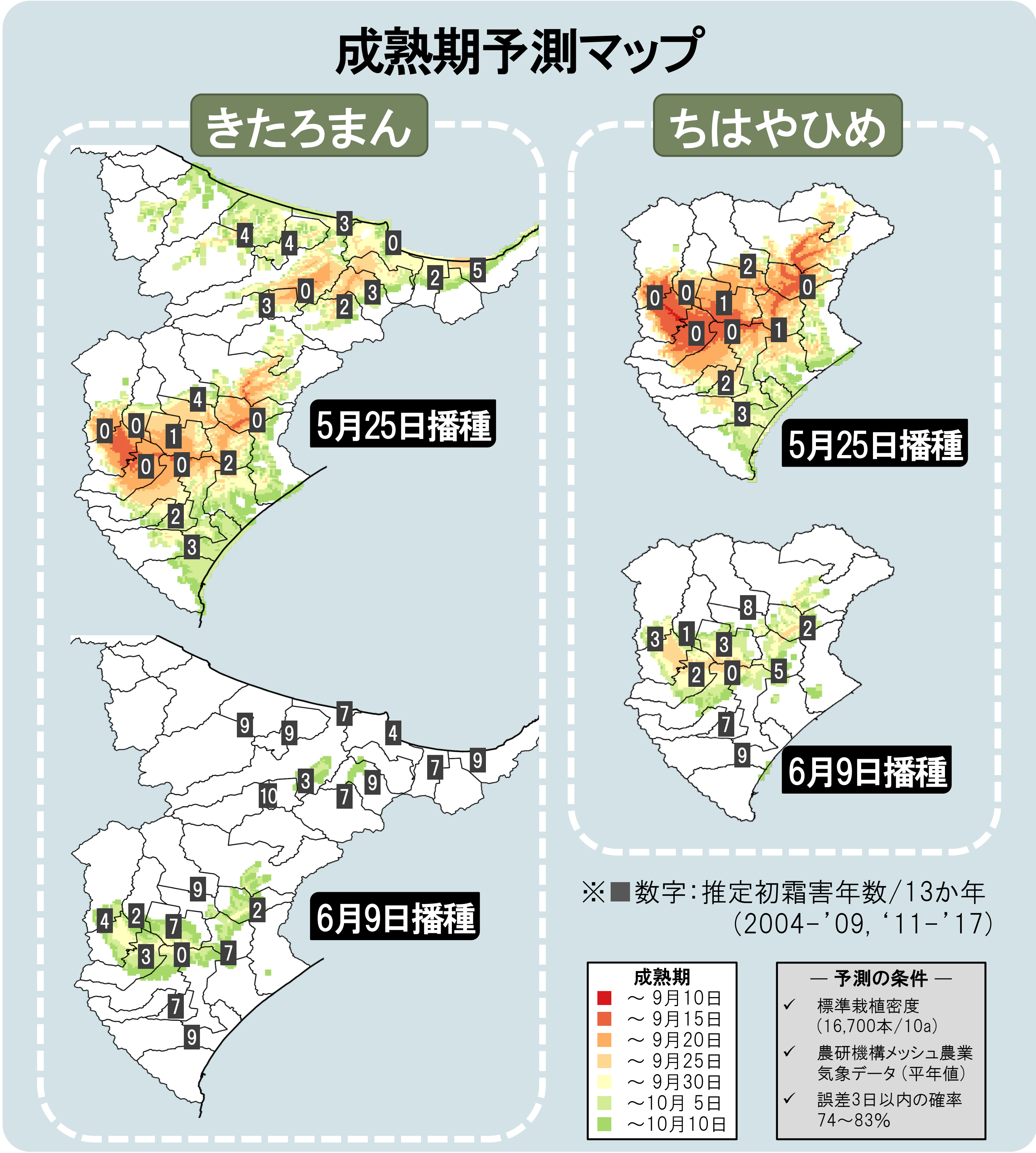
概要 Abstract

- 「きたろまん」・「ちはやひめ」は密植で増収と成熟期前進
- 地力の高い畑では密植にしない（倒伏の増加リスク）
- 6月上旬の晩播が可能なエリアは十勝中央部のみ

成果 Results



早生品種の主な特性		
きたろまん		ちはやひめ
やや早	成熟期	早
強	耐倒伏性	強(きたろまん以上)
強（レ-s1）	落葉病抵抗性	強（レ-s1）
強（レ-s1）	茎疫病抵抗性	かなり強（レ-s1・3・4）
やや強	耐冷性	中



地域	播種期	品種	栽植密度	標準(密度・播種期)に対する反応	留意点
十勝中央部	5月下旬	きたろまん	標植(16,700本/10a)の1.5倍程度までの密植(～25,100本/10a)。	1.5倍密植で成熟期前進(1～2日)、増収。	地力の高いほ場では標植とする。
		ちはやひめ		1.5倍密植で成熟期前進(2～3日)、増収。	－
	6月上旬	きたろまん		収量・品質の低下は少ない。 1.5倍密植で成熟期前進。	生育量不足で減収する事例あり。初霜早い地域は晩播を避ける。
		ちはやひめ			生育量不足でやや減収する事例あり。
十勝山麓沿海部・オホーツク	5月下旬	きたろまん		1.5倍密植で成熟期前進(1日程度)、並～やや増収。	地力の高いほ場では標植とする。
		ちはやひめ		1.5倍密植で成熟期前進(1日程度)、増収。	低温条件で成熟期が「きたろまん」並に遅れる事例、外観品質が「きたろまん」より劣る事例(色浅)あり。
	晩播は行わない。晩霜を回避しながらできるだけ播種期を早め、生育期間を確保する。				

注)十勝中央部：十勝川・利別川沿いの地域。

普及 Dissemination

本成績は道東において小豆早生品種を栽培する際に活用する。

連絡先 Contact

十勝農業試験場 研究部 小豆菜豆グループ
0155-62-2431 tokachi-agri@hro.or.jp